

## 信州型自然保育認定・登録制度（案） 概要

平成 26 年 11 月 10 日

### はじめに

幼児期から児童期における様々な体験は「人生の根っこ（原体験）」として、子どもが将来にむけて社会的に自立していくために必要不可欠である。

自然に対し畏敬の念をもって真摯に向き合うことを子どもに伝え、子どもが生まれながらに持っている遊びや活動を能動的に創り出す力を尊重しつつ、子どもの興味関心が広がるような様々な発見につながる時間とプロセスを大切にする実践が充実すれば、子どもの主体性、社会性、創造性などはより育まれると考える。

信州の自然環境や地域の様々な資源を積極的に活用した屋外での体験活動が子どもにとって必要不可欠であることを長野県の共通認識とし、実践の「見える化」や、質の向上を図るため「信州型自然保育認定・登録制度」を構築する。

### 信州型自然保育の定義

「信州の自然環境や地域資源を積極的に活用する屋外での多様な体験を基軸とした活動」を幼児期以降の子どもと共に実践する保育、子育て、幼児教育の総称。

県内各地の保育や幼児教育において、自然の中での体験活動等における子ども、保護者、保育者等のニーズや県が定めた基準を満たす特色ある実践を「信州型自然保育」として認定または登録し、実践の社会的認知の拡大と信頼性の担保をめざしつつ、県内全体の保育と幼児教育の向上発展に寄与する。

### 信州型自然保育の基本理念

- ① 自然と触れ合う活動を基軸とする保育や幼児教育を通じ、子どもの心情、意欲、態度を育む
- ② 多様な体験を通じて豊かな人間力を育成する
- ③ 長野県の豊かな自然環境を子育てや保育の資源としてアピールする

### 制度の名称

「信州型自然保育認定・登録制度」とする。

### 制度の目的と内容

- ① 信州型自然保育の認定・登録と周知
- ② 「信州型自然保育ガイド」を作成し、信州型自然保育への関心と理解を促進する
- ③ 研修会を開催し、自然保育に取り組む団体どうしの学びあいと交流を促進する
- ④ 幼保小の連携促進に寄与する

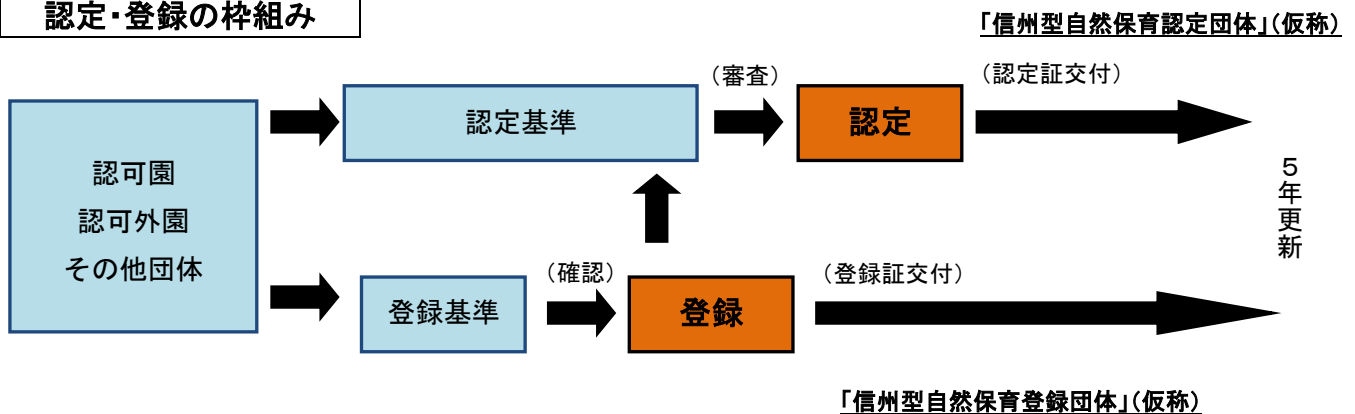
## 認定と登録の位置づけ

**認定団体**：時間的にも内容的にもさらに多様な体験活動を実践し、その内容や子どもとの関わり方などが他団体のモデルとして認められる団体

**登録団体**：自然環境や地域資源等を活用した体験活動に計画的かつ継続的に取り組んでいる団体

認定・登録された団体には県が認定証および登録証を付与すると共に「信州型自然保育」の表記やシンボルマーク等を使用できるものとする。あくまでも信州型自然保育の実践内容を認定・登録する制度であって、自然保育を実践する団体の許認可制度ではない。

## 認定・登録の枠組み



## 認定の手続き

認定申請した団体の自然保育の実践内容とその質について、認定審査委員会が現地視察と運営代表者のヒアリングを行った上で認定基準に従い審査し、県が認定団体に認定証を付与する。認定を受けた団体は、実践について積極的に情報公開することで対外的な説明責任を果たすものとする。

## 登録の手続き

登録を希望する団体は、登録申請書類に必要事項を記入し提出し、県の確認を経て登録とする。登録手続き完了後、県が登録証を付与し団体名等を公表する。

登録団体は、各団体のホームページ等を通じて実践についての情報を公開し、対外的な説明責任を果たすものとする。なお、登録団体が認定申請をすることは妨げない。

## 実践報告の提出について

認定団体ならびに登録団体は、毎年度末に県が定めた所定の書式によって実践報告を提出するものとする。

### ①量的基準の設定と質的基準の考え方

屋外での体験活動の量的基準として「一日当たり平均 60 分以上の時間を確保する」ことを設定した。

「60 分以上」といえども、団体の理念に「自然体験の重視」を置き、意識的に実践に取り組まなければクリアできない基準であると考ええる。

質的基準として団体の実践の具体的内容を詳細に記録した上で報告し、それを公開することをもって社会的信頼性等の担保とする。

しっかり記録をつけ何年も蓄積しつつ共有することが長野県の保育における宝物となる。そうした記録の蓄積の結果として「信州型自然保育」のスタイルが見えてくる。

量的、質的両基準を設定することで実践全体の信頼性を担保するが、より質的基準を重視することで保育、幼児教育のさらなる質の向上、充実を図る。

### ②認定審査の考え方

申請した団体が創意工夫しながら様々な体験活動に対して主体的かつ積極的に取り組んでいる様子や、保育者の子どもに対する関わり方において、子どもが思う存分遊べる時間を保障し、子どもが体験を通して本来持っている自ら育つ力が刺激されるような環境を提供できている様子を申請内容の確認と現地視察を通して審査し、他団体のモデルとして県が様々な場面で紹介できると認められる団体を認定する。(質的な審査を重視することで、結果として実践量も確保されると考える)

### 認定・登録基準において記録と報告を重視することのねらい

体験活動を量的に計る基準を設定しつつも、体験活動の内容の豊かさや質の高さをより問う基準を重視する。認定、登録ともに実践内容の記録と報告を重視することは、実践に関する情報を共有し相互に学びあえる環境が広がることに資することであり、各団体が自らの保育内容を見つめ直すきっかけとなったり、保育内容が社会的に「見える化」されることにつながると考える。

より詳細な記録を残し提供することを条件とする「認定団体」を先進的かつ積極的な実践のモデルとしつつ、体験活動についての理解の裾野が広がることで長野県全体の保育の質が高まり、多様な子どもたちの個性や能力を引き出すための子育て環境が充実されるものとする。

## 事業目標

### 量的目標

認定団体数：H26 年度 **5 団体**、H27 年度さらに **10 団体**

登録団体数：H 26 年度～H27 年度に **70 団体**

(公私立保育園、公私立幼稚園、認可外保育施設等全体の約 1 割)

信州型自然保育ガイド（兼 H26 年度事業報告書）：H26 年度 **600 部発行**

※ガイドは県公式サイトにも掲載しダウンロードできるようにする。

信州型自然保育広報用リーフレット：H26 年度 **6000 部発行（フルカラー）**

### 質的目標

保育・幼児教育における多様な体験活動の充実と質の向上、団体間および地域との結びつきの広がりを目指す。

## 期待する施策効果

- ①保育・幼児教育全体の質の向上と実践内容の充実（幼保の連携と実践の多様化促進）
- ②保護者も主体的に保育に参加できることで子育ての楽しさを実感してもらう  
(少子化対策につなげる)
- ③保育や幼児教育に対する保育者および保護者の新しい価値観が醸成される  
(実践を記録、公開、検証、共有することにより、保護者との信頼関係を構築しつつ、保育者・保護者共に保育の中身と質に目を向けるようになれば、保育環境の選択も、従来の建物、規模、立地、保育料、保育時間の長さといった外的基準以上に、実践内容とその質によって選択されやすくなる)
- ④市町村の自然保育に対する理解が促進される  
(保育の多様性を求める保護者のニーズにこたえる)
- ⑤“子育て先進県ながの”を県内外へ積極的に発信しつつ、自然保育に対する保護者や子どもの安心感の向上を目指す（子育て世代の移住交流の促進と定着につなげる）

## 制度検討の過程

第 1 回検討委員会（4 月 10 日）制度素案の検討他

第 2 回検討委員会（6 月 13 日）制度素案の検討他

第 3 回検討委員会（9 月 10 日）制度素案の検討、信州型自然保育ガイド作業部会設置

第 4 回検討委員会（10 月 24 日）制度案および認定・登録基準案検討

第 5 回検討委員会（11 月 10 日）制度と申請書類等承認、「信州型自然保育ガイド」検討

※5 月以降、県内の野外保育等団体 14 団体と認可保育園、幼稚園 5 園を現地視察

## 今後のスケジュール（予定）

11月21日（金）11：00 知事会見（制度発表、全国フォーラムへの出席について他）

### 知事会見（11月21日）以降のスケジュール

- ①県内の全ての保育園、幼稚園、認可外保育施設、野外保育連盟へ通知（21日付）  
制度紹介と県の間合せ窓口について（通知の仕方については各所属団体に相談）
- ②市町村（公立保育園、幼稚園）への通知（21日付）  
制度紹介と県の間合せ窓口について
- ③県の公式サイトでの周知（11月21日知事会見直後より）  
制度紹介および申請受付期間他について

---

11月24日午前 森のようちえん全国フォーラム（仙台）にて全国初の制度策定を発表  
知事は23日夜に仙台入りし、24日午前に講演

11月25日（火）～ 認定・登録申請受付開始

申請受付期間：H26年11月25日（火）～H27年1月16日（金）予定

12月18日（木） 第6回検討委員会：申請状況および信州型自然保育ガイド検討

12月中旬～ H26年度認定審査（1月中旬までに順次実施）

---

1月30日（金） 第7回検討委員会（最終）

事業報告書と信州型自然保育ガイド承認、認定・登録団体決定

2月6日（金）または13日（金） 認定団体の認定式と登録団体公表

（知事会見前後の時間帯で知事出席にて）

2月中旬～ 認定・登録団体の広報

（信州型自然保育リーフレットの県内外配布、県広報誌他）

H26年度事業報告書、信州型自然保育ガイド完成